

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

リスク・マネジメントが研究対象とする領域は、事故、災害、企業の不祥事、金融危機からテロ、戦争に至るまで多岐にわたっており、現代では家庭・企業・国家などあらゆる組織形態に欠かせないものとなっている。本講義では、リスク・マネジメントの意義と役割を平易かつ具体的に理解できるよう、講師の年金基金、銀行および生命保険会社での実務経験に基づき、保険論・金融論をベースとしたリスク・マネジメントの理論的体系から具体的事例まで、学術・実務両面の視点から幅広く講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：本講義の概要
第 2 回	リスクの概念・種類・分類
第 3 回	リスク・マネジメントの手法・プロセス
第 4 回	リスク・マネジメント手法としての保険のしくみ
第 5 回	個人のリスク・マネジメント① 公的保障・企業保障・個人保障の役割分担
第 6 回	個人のリスク・マネジメント② 生命（死亡・医療・介護等）への備え
第 7 回	個人のリスク・マネジメント③ 家財（住宅・自動車等）への備え
第 8 回	個人のリスク・マネジメント④ 老後（年金）への備え
第 9 回	資産運用・資産形成のリスク・マネジメント
第 10 回	企業のリスク・マネジメント① 全社的リスク・マネジメント（ERM）
第 11 回	企業のリスク・マネジメント② 内部統制、事業継続計画（BCP）
第 12 回	金融機関のリスク・マネジメント① 銀行のリスク・マネジメント
第 13 回	金融機関のリスク・マネジメント② 保険会社のリスク・マネジメント
第 14 回	リスク・マネジメントの歴史および具体的事例
第 15 回	本講義のまとめ：リスク・マネジメントの実生活への応用
第 16 回	期末試験

到達目標

わが国のリスク・マネジメントの基礎理論に関する知識を身に付けることは勿論だが、学生が社会人となってから、組織人あるいは消費者としてリスクに備えるための各種制度（公的保障・企業保障・個人保障等）を利用する上で最低限必要な判断軸を習得することを目標とする。

履修上の注意

講義形式を基本とするが、学生諸君が積極的に議論に参加することを強く期待する。また、本講義の内容はファイナンシャル・プランナー（FP）試験の出題範囲（リスク管理、金融資産運用、ライフプランニングと資金計画）とも親和性が高く、受験生にとっては試験対策としても有用であるほか、合格者にとっては出題された内容が実社会あるいは金融実務の現場でどのように実践・活用されているかを学ぶ良い機会となるだろう。

予習・復習

- ・予習は原則不要。必要があれば講義の際に指示する。
- ・復習に代えて、毎回の講義の際に、出席確認を兼ねた小テスト・小レポートを実施する（10分程度）。

評価方法

期末試験：70%、講義内小テスト・小レポート：30%

テキスト

〔教科書〕特定の教科書は使用せず、講師作成のレジュメを毎回配布する。

〔参考書〕必要に応じて下記書籍を熟読することを推奨する。

- ・下和田功編『はじめて学ぶリスクと保険（第4版）』有斐閣ブックス
- ・李洪茂『リスク・マネジメント論』成文堂
- ・FP試験の各種テキスト など